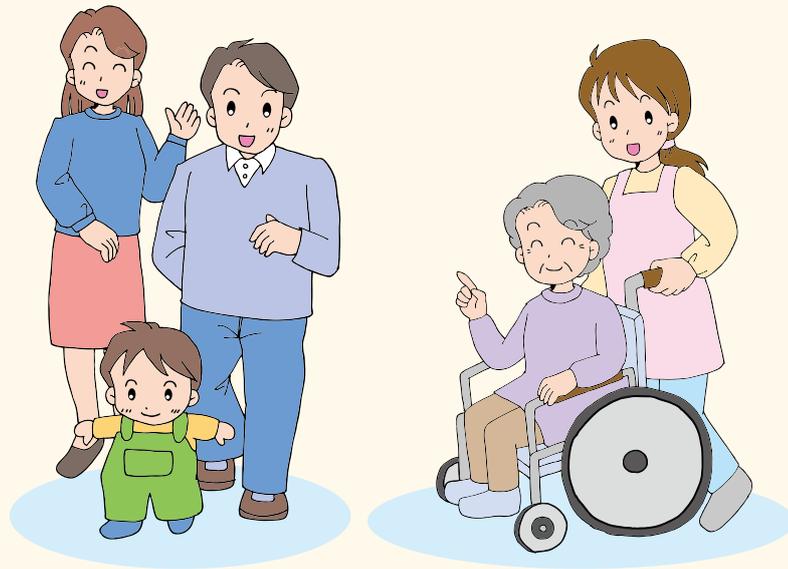


2 なぜ必要？「地方分権改革」

① 少子・高齢社会への対応

少子・高齢化の進展。でも、そのスピードは地域によって異なります。子育て支援や高齢者介護などの福祉サービスについて、【全国一律】【画一的】なものではなく、それぞれの地域の実情に合ったきめ細かな対応が求められています。



② 個性豊かで元気な地域社会の形成

地域には地域の歴史や伝統に育まれた個性や文化があります。その良さや価値は、そこに住む人が一番よく知っています。国が定める基準によるのではなく、地方が自らの判断によって地域の魅力や特色を活かした個性豊かで元気な地域社会をつくる必要があります。



③ 簡素で効率的な行政の確立

人口減少時代を迎え、今後、社会保障費の増大が見込まれる中、国と地方の行政の重複をなくし簡素で効率的な行政の仕組みに変えていくことが求められています。地方が担えることはできる限り地方に任せ、国は外交、防衛などの国家の存立に関わる分野に集中するなど、国と地方の役割分担を見直していくことが必要です。



◇ 「国と地方の役割分担の見直し」の考え方

基本的な考え方（補完性の原則）

- ・ 住民に身近なところ（＝市町村）に権限を集約することを基本とする
- ・ 市町村での処理が困難な事務は都道府県が、都道府県が困難な事務は国が「補完」

